



玉里中通信 No.8

令和2年11月4日

学校教育目標

た

くましく

ま

ごころあふれる

り

りしい生徒の育成

小美玉市立玉里中学校

意欲と集中力をもって

木の葉が紅葉し、秋の深まりが感じられます。生徒たちは日々、勉強や部活動などの学校生活に取り組んでいます。コロナ禍でも、更に意欲と集中力をもって取り組めるように支援していきます。

11月の主な行事

- 6日(金) 3年県立高校入試説明会
- 10日(火) いじめ撲滅集会
1年小中連携あいさつ運動(～11日)
スクールカウンセラー相談日(PM)
- 13日(金) 県民の日 ※学校閉庁日
- 16日(月) フリー参観 3年三者面談(～20日)
- 24日(火) スクールカウンセラー相談日(AM)
- 27日(金) 期末テスト

俳秋祭合唱コンクール

10月17日(土)に俳秋祭合唱コンクールを実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、発表クラス以外は教室でリモート鑑賞にしました。

また、保護者はお子様のクラスに限定して入場いただきました。

生徒会・実行委員会が計画し、生徒たちで準備や練習を重ねて、すばらしい合唱コンクールにすることができました。

【コンクール結果】

- 金賞 3年B組
- 銀賞 3年A組 ○銅賞 2年A組
- ブリランテ賞 2年B組 1年A組
- 最優秀指揮者賞 菅谷冴樹(3年A組)
- 最優秀伴奏者賞 矢口結梨(3年B組)



中央地区中学校新人体育大会

10月6日(火)から、中央地区新人体育大会が行われ、野球部と男子バスケットボール部、ソフトテニス部(個人)、卓球部(個人)が出場しました。出場した選手は、東茨城地区新人体育大会を勝ち抜いた地区代表として、それぞれの試合に全力を尽くしました。

【野球部】県大会出場

常陸大宮市民球場 那珂湊球場

- 玉里中 9対0 常澄中 ● 5回コールド
- 玉里中 5対1 田彦中, 瓜連中, 那珂二中 ●
- 玉里中 6対2 水戸四中 ●

【男子バスケットボール部】

ひたちなか総合運動公園体育館

- 玉里中 51対68 那珂四中 ○

【ソフトテニス部】

水戸市総合運動公園テニスコート

- 個人戦 陽美・長谷川 2回戦(シード)まで
- 幡谷・石井 1回戦まで

【卓球部】

大宮西部体育館

- 個人戦 菊池拓監 1回戦まで



食に関する授業

10月23日(金),望ましい食と心身の育成を図ることをねらいとして、食に関する授業を行いました。今回は、1年生が「朝食の大切さと生活リズム」について学習しました。小川南中学校栄養教諭の古宇田先生にご指導いただきました。



野球部 県大会出場

10月27日(火)に、さくら運動公園野球場にて行われた茨城県新人体育大会軟式野球の部第1回戦、玉里中学校は、峰山中・太田中・水府中の連合チームに2対1で勝利しました。

続く2回戦が10月28日(水)に、TOKIWAスタジアム龍ヶ崎で行われ、玉里中学校は石岡市立八郷中学校と対戦しました。結果は1対2の惜敗でした。しかし、この日も玉里中学校野球部魂が見られ、全員が心を一つに、最後まで全力で戦いました。

県大会に出場し、2回戦まで進んだ野球部を称えたいと思います。



県大会 新体操の部

10月27日(火)、笠松運動公園において茨城県中学校新人体育大会(新体操の部)が行われました。玉里中学校から、中央地区大会を勝ち抜いた1年浅野さんが出場。練習を重ねた成果を披露しました。結果は総合11位と健闘しました。



中央地区中学校駅伝競走大会

10月21日(水)、笠松運動公園にて第16回中央地区中学校駅伝競走大会が開催されました。大会まで朝の練習を続け、選手は全力で区間を走りきりました。

結果は男子が49チーム中24位、女子は45チーム中で32位でした。昨年は男子が48位、女子35位でしたので選手皆がんばりました。



<男子>	菅谷冨樹③	松井琢磨③	山口羅羽③
	山口瑛凧②	石塚成海②	田崎優一郎③
<女子>	幡谷葵②	久保田真帆②	坂本七海③
	大山梨愛③	陽美日彩②	

思春期親子講演会(2学年)

9月30日(水)、第2学年の生徒と保護者を対象に、思春期親子講演会を実施しました。

講師として、龍ヶ崎済生会病院産婦人科医師の陳央仁先生をお迎えしました。「自分



(いのち)を大切に生きていくために～君は愛されるために生まれてきた～のタイトルで、「生命の誕生」や「性のあるべき姿(性倫理)」等のお話をいただきました。

胎児や誕生の瞬間の画像や映像を提示されての先生の話に、生徒は真剣に聞き入っていました。また、性的接触には必ず妊娠と性感染症の可能性を伴うとした上で、予想外の妊娠や性感染症の危険性について実例を示してお話いただきました。

さらに、「出会い系サイト・コミュニティサイト」の現実と問題については、「メールでは好印象を受けたが会ってみたら別人がいて、性被害を受けた」という例を挙げて、SNSの使用に係る危険を指摘されました。

講演後は、保護者向けにお話をされ、「10代の性感染症の急増や人口妊娠中絶の現状は想像以上に深刻で、まさに『今、そこにある危機』です。」と医師の立場から警鐘をならされました。

【生徒の感想から】

- 陳先生の話聞いて、性についてよく知ることができたし、自分は幸せになるために産まれてきた、親に愛されて産まれてきたんだと分かり、簡単に命を絶とうなどという考えはもちたくないし、そんな人がいたら優しく声をかけようと思います。
- 講演の中で一番心に残った言葉は、「生きていくだけで百点満点」という言葉です。世の中には自分に自信がもてない人や、早く死にたいという人も多くいると思います。そんな人たちに言ってあげるべき言葉だと思うからです。
- 中学生になってから、いのちのことや性のことを前よりも考えていたけれど、知らないことばかりだったので、今日の講演で知ることができてよかったかなと思います。性のことは、今の時期、はずかしいと思うけれど、正しい知識をもっておくべきだと思いました。
- LINEやInstagramは、相手の顔が見えないし、書かれていることが本当のことなのかをしっかりと疑っていきたいと思います。
- 講演をきいて、性感染症の怖さを知りました。性感染症のことをよく知った上で、私も命のリレーを次につなげていきたいと思いました。